

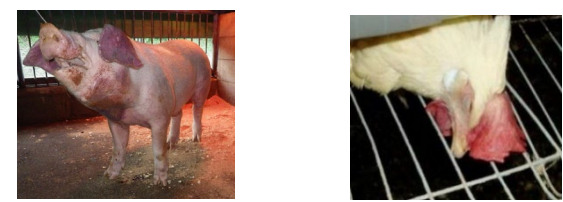
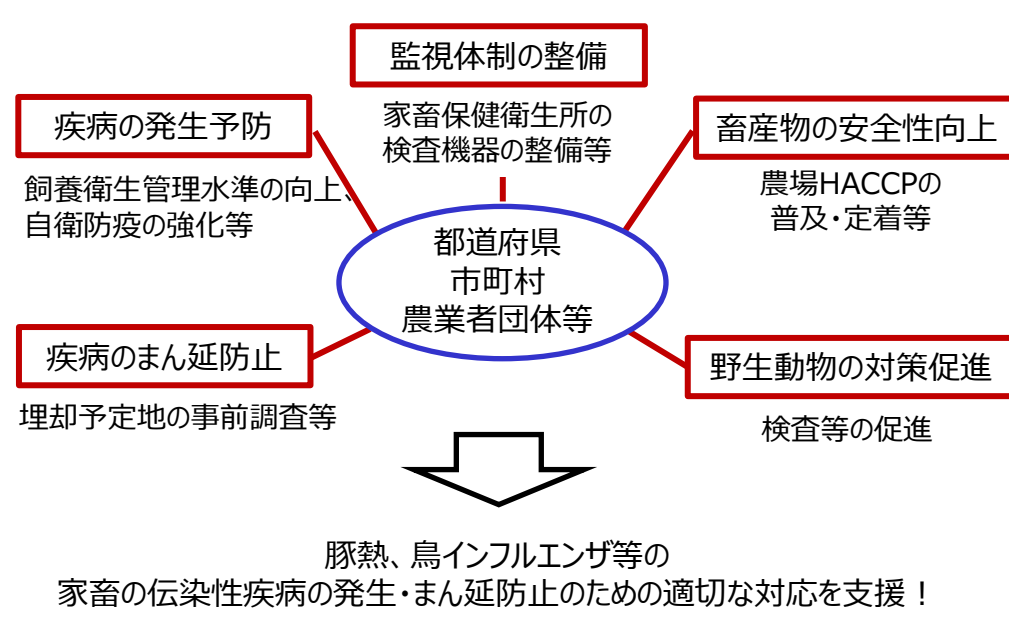
<対策のポイント>
都道府県等が地域の実態を踏まえて実施する、**家畜疾病に関する監視体制の整備、発生予防・まん延防止の取組、畜産物の安全性向上や野生動物の対策促進**の取組を進めます。

<事業目標>
家畜伝染病のまん延防止措置が適切に実施されていないためにまん延させてしまった事例の件数を0件とすること

<事業の内容>

<事業イメージ>

- 1. 監視体制の整備**
家畜保健衛生所における検査の信頼性確保の取組、**飼養衛生管理支援システム導入に必要な機器整備の取組**等を支援します。
- 2. 家畜の伝染性疾病の発生予防**
① 地域が一体となった**防鳥ネット、消毒機器の整備等の飼養衛生管理水準の向上、養鶏場周辺のため池の落水等の野鳥飛来防止対策**の取組を支援します。
② **鳥インフルエンザの流行期に備えた農場の点検、分割管理に向けた指導**等により、地域自ら飼養衛生管理を強化するなど**自衛防疫を強化する取組**を支援します。
- 3. 家畜の伝染性疾病のまん延防止**
① 地域で課題となっている**生産性を低下させる疾病**について、関係者が一体となった**衛生対策の仕組みづくり**等を支援します。
② 家畜の伝染性疾病発生時に備え、地域における**埋却予定地の事前調査を含む防疫演習**について支援します。
- 4. 畜産物の安全性向上**
生産段階におけるHACCPの考え方を採り入れた**飼養衛生管理（農場HACCP）の普及・定着**等を支援します。
- 5. 野生動物の対策強化**
野生動物におけるアフリカ豚熱及び豚熱の浸潤状況調査に係る**野生動物の検査の促進**等を図るための取組を支援します。



（豚熱及び鳥インフルエンザの症状）

